



令和4年度 福島県立いわき総合高等学校 学校評価アンケート結果

■回答数

	在籍数	回答数	回答率
生徒	557	551	98.9%
保護者	557	541	97.1%
教員	58	57	98.3%

○ 本校は、教育の水準の向上を図るために、『学校経営・運営ビジョン』を作成し、『ビジョン』に関する自己評価を実施しています。アンケート調査はその一環として行っています。

実施期日：令和4年12月～令和5年1月

○ 下記の評価項目の表現は生徒用アンケートの文言です。保護者用、教職員用のアンケートでは、主語を変えるなどして実施しています。

■結果

評価点 A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない。

視点	評価項目	回答者	評価点					グラフ
			A	B	C	D	無回答	
総合学科	1. あなたは、本校に入学して良かったと思っている。	生徒	44.8%	44.5%	8.7%	2.0%	0.0%	
		保護者	60.3%	33.1%	6.1%	0.6%	0.0%	
		教員	10.5%	84.2%	5.3%	0.0%	0.0%	
		全体	50.4%	41.1%	7.3%	1.2%	0.0%	
	2. 本校は、総合学科として特色ある教育を行っている。	生徒	63.0%	34.8%	2.0%	0.2%	0.0%	
		保護者	66.4%	30.1%	3.0%	0.6%	0.0%	
		教員	33.3%	63.2%	3.5%	0.0%	0.0%	
		全体	63.1%	34.0%	2.5%	0.3%	0.0%	
①学びの充実	3. 本校教員は、生徒を理解し一人一人に応じた支援をしている。	生徒	38.3%	48.5%	11.6%	1.6%	0.0%	
		保護者	37.2%	54.2%	7.4%	1.3%	0.0%	
		教員	12.3%	80.7%	7.0%	0.0%	0.0%	
		全体	36.5%	52.7%	9.4%	1.4%	0.0%	
	4. 本校教員は、積極的に教材研究に取り組み、生徒の進路目標の実現に向けた教育活動を実践している。	生徒	45.2%	48.8%	5.1%	0.9%	0.0%	
		保護者	41.6%	50.5%	7.0%	0.7%	0.2%	
		教員	21.1%	71.9%	7.0%	0.0%	0.0%	
		全体	42.3%	50.7%	6.1%	0.8%	0.1%	

評価点 A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない。

視点	評価項目	回答者	評価点					グラフ
			A	B	C	D	無回答	
② 表現活動の充実	5. 本校では、表現力・プレゼンテーション能力・課題解決能力等、コミュニケーション力が身に付く指導がなされている。	生徒	59.0%	36.5%	4.0%	0.5%	0.0%	
		保護者	45.5%	48.6%	5.5%	0.4%	0.0%	
		教員	35.1%	63.2%	1.8%	0.0%	0.0%	
		全体	51.4%	43.5%	4.6%	0.4%	0.0%	
	6. 本校は、部活動や生徒会活動等の自主活動が、活発に行われている。	生徒	54.4%	39.2%	5.3%	1.1%	0.0%	
		保護者	48.2%	46.2%	5.0%	0.6%	0.0%	
		教員	19.3%	52.6%	28.1%	0.0%	0.0%	
		全体	49.8%	43.2%	6.3%	0.8%	0.0%	
③ キャリア形成	7. 本校では、キャリア教育（「産業社会と人間」や「総合的な時間」を含む）を通して、生徒自身の自己理解や職業理解を深めている。	生徒	61.5%	34.5%	3.3%	0.7%	0.0%	
		保護者	44.2%	49.0%	6.3%	0.6%	0.0%	
		教員	35.1%	63.2%	1.8%	0.0%	0.0%	
		全体	52.0%	42.7%	4.6%	0.6%	0.0%	
	8. 本校では、一人一人に適したきめ細かい進路指導がなされている。	生徒	38.8%	47.9%	11.1%	2.2%	0.0%	
		保護者	35.3%	54.2%	9.2%	1.1%	0.2%	
		教員	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	0.0%	
		全体	35.8%	52.4%	10.2%	1.6%	0.1%	
④ 情報発信・共有	9. 本校は、学校生活の様子や諸連絡等の情報提供を的確に行っている。	生徒	41.6%	47.5%	8.9%	2.0%	0.0%	
		保護者	41.4%	48.2%	9.2%	0.7%	0.4%	
		教員	22.8%	66.7%	8.8%	1.8%	0.0%	
		全体	40.6%	48.8%	9.1%	1.4%	0.2%	
	10. 本校は、保護者や生徒の悩みや相談、要望等を共有しようと努めている。	生徒	37.7%	46.6%	12.0%	3.6%	0.0%	
		保護者	34.9%	52.1%	10.9%	1.8%	0.2%	
		教員	12.3%	77.2%	8.8%	1.8%	0.0%	
		全体	35.2%	50.7%	11.3%	2.7%	0.1%	

【アンケート結果の分析】

- 項目2、4、5、7では、生徒、保護者、教員のA・B評価の合計がいずれも90%超となっており、総合学科の特色を生かした本校の教育実践が理解されていると言えます。
- 一方、項目6については、教員のA・B評価の合計が71.9%にとどまり、昨年度(89.3%)と比べ大きく減少したほか、生徒、保護者の認識との隔たりが見受けられます。項目8については、生徒のC・D評価の合計は昨年度の16.3%から今年度13.2%に減少したものの、一定の割合があることから、個に応じた指導の充実への期待がうかがえます。項目10については、生徒のC・D評価の合計は昨年度の19.0%から今年度15.6%に減少しましたが、一定の割合があることは、教員間の連携した対応が今後も求められることを示しています。

【分析の上での学校の考え】

- ◎本校が取り組む「特色ある教育活動」に関連する項目は、特に評価が高く、今後も継続して生徒の学習活動の充実に取り組んでまいります。一方、「生徒一人一人へのきめ細かな指導」や「生徒理解」の観点では評価が低くなっています。評価結果を真摯に受け止め、改善が図れるよう検討してまいります。

【自由記述の主な内容と学校の考え】自由記述の中から、皆様に御理解いただきたい内容、対応を検討していく内容のみ記載させていただきました。

- 「本校の先生方にあいさつすると、返してくれる先生と返してくれない先生がいます。こちらとしては気持ちがいいものではありません。先生方もあいさつを意識すべきだと思います。」
→「あいさつ」は、お互いを認め合う、人付き合いの基本中の基本です。早急に教職員の中で共有し、「あいさつ」を大切にし、気持ちよくあいさつが交わせる学校にしていきたいと考えています。
- 「夏場のエアコンや冬の暖房機使用についての要望(複数)」
→学校としては、学習環境を確保しつつ、電気代・燃料費の高騰も踏まえ、可能な限り設定温度や運転時間について柔軟に対応してまいりました。設備の老朽化による不具合等で不便をおかけすることもあります。機械の更新や修繕等の対応を県と協議しながら改善してまいります。
- 「全体でみるとAとはいえないのが残念です。全学年でクラスのおたよりがあると、学校生活がみえてありがたいです。」
→保護者として、学校の様子を知りたいのは当然のことと思います。年次や学級からのお便りについては、多忙な中、過度な負担にならない範囲で、学校ホームページと併用しながら、情報発信に努めてまいります。
- 「2年次以降、進路希望が変わってしまった場合など、選択した科目が合わなくなったため、学校を辞める生徒が多い。再検討させて、合う授業を受けさせる等、学校を辞めないよう対策をすべきである。希望を持ち入学してきたのであるから、先生が生徒の進みたい方向に対応してくれば、もっと良い高校になり、地元で人気が出ると思う。」
→大変厳しい御指摘に感謝します。本校では、1年次に将来の進路を考える「キャリア教育」に力を入れており、2年次から卒業後の進路を見据えた科目選択ができるよう指導しています。進路希望が大きく変わるような場合等については、個別に御相談ください。